

小学校外国語科モデルプラン

第5学年

I want to go to Italy.

We Can! 1 Unit 6



関連する領域別の学習到達目標

【話すこと】 【やり取り】	日常生活に関する身近で簡単な事柄について、自分の考えや気持ちなどを、簡単な語句や基本的な表現を用いて伝え合うことができるようにする。
【書くこと】	自分のことや身近で簡単な事柄について、例文を参考に、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を用いて書くことができるようにする。
【読むこと】	音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現の意味が分かるようにする。



単元ゴール

コミュニケーションの 目的・場面・状況	友達や ALT の先生におすすめの旅行先を紹介するために、その国でできることをパンフレットに書いてまとめる。
目指す発話例	<p>S1 : Where do you want to go? S2 : I want to go to Italy.</p> <p>S1 : You want to go to Italy? S2 : Yes.</p> <p>S1 : Why? S2 : I want to eat pizza.</p> <p> You can eat pizza in Italy.</p> <p>S1 : That sounds delicious. Do you like pizza? S2 : Yes I do.</p> <p> I like pizza very much.</p> <p>S1 : I see.</p>
目指す筆記例	<p>Italy is nice.</p> <p>You can eat pizza.</p> <p>You can see the Leaning Tower of Pisa.</p> <p>You can buy olive oil.</p>



言語材料 (下線は新出表現・語彙)






主な表現	主な語彙
<u>Where do you want to go?</u> <u>I want to go to (Italy).</u> <u>Why?</u> <u>I want to [You can] go to [see / go to / visit]</u> <u>(the Colosseum).</u> <u>I want to [You can] eat (pizza).</u> <u>I want to [You can] buy (olive oil).</u> <u>It's [exciting / delicious / beautiful / great / fun].</u>	国(America, Australia, Belgium, Brazil, Canada, China, Egypt, Finland, France, Germany, India, Ireland, Italy, Japan, Korea, Peru, Russia, Spain, Thailand, the UK), 状態・気持ち(beautiful, delicious, exciting, fun), 動作(see, visit, buy, eat), where, coffee [既習] 動作, 状態・気持ち, 国, 飲食物

指導計画

第1時	<p>目標：世界には、様々な人たちが様々な生活をしていることに気付く。 行ってみたい国について聞いたり言ったりすることができる。</p> <p>準備物：デジタル教材、児童用テキスト、絵カード、振り返りカード</p>
-----	---

時間	児童の活動 【 】 = We Can! に誌面化されている活動	指導者の活動と使用英語例 ◎評価<方法>	準備物
1分	・挨拶をする。	・指導者や日直と児童全体で挨拶や様子を尋ねるやり取りを交わす。	
5分 	<p>【Let's Watch and Think 1】 (p.42-43)</p> <p>・デジタル教材を視聴し、聞き取れた内容をメモに取る。</p> <p>・いろいろな国について情報を得たことをもとに、本単元で取り組もうとしていることへの見通しをもつ。</p>	<p>・視聴する前に、誌面のイラストや写真の情報を見ながら、児童の既存の知識を確認する。</p> <p>・視聴の視点を示す。</p>	デジタル教材 児童用テキスト
5分 	<p>○Small Talk</p> <p>・誌面のイラストや写真、デジタル教材の内容を踏まえた教師の会話を聞き、単元のゴールを設定する。</p> <p>・本時のめあてをたてる。</p>	<p>T1: Wow, it looks delicious!</p> <p>T2: Do you like eating?</p> <p>T1: Yes, I do. I like eating. I want to eat this.</p> <p>T2: It's pirozhki. You can eat pirozhki in Russia.</p> <p>T1: Russia?</p> <p>T2: Yes. It's a Russian food.</p> <p>T1: I see. I want to go to Russia.</p> <p>T2: Nice.</p>	絵カード
いろいろな国について知り、行ってみたい国を言ってみよう。			
3分 	<p>【Jingle】 Countries Jingle</p> <p>・デジタル教材を見ながら、音声を聞く。</p>	・アルファベットの文字がもつ音の特徴を捉えやすいように、指導者も口をはっきりと動かし、一緒にジングルを言う。	デジタル教材
10分 	<p>【Let's Listen】 (p.47)</p> <p>・3ヒントクイズを通して、様々な国の食文化や観光地、特長などについて知り、単元のゴールに向けての興味・関心を高める。</p>	<p>・児童が作成するパンフレットで扱う表現を用いて、三つのヒントを提示する。</p> <p>・写真等を活用し、視覚情報を手がかりに話している内容を掴ませるようにする。</p> <p>◎世界には、様々な人たちが様々な生活をしていることに気付いている。<行動観察、振り返りカード></p>	絵カード
3分 	<p>【Let's Chant】 Where do you want to go? (p.43)</p> <p>・チャンツの冒頭部分を聞いて、聞こえた表現を確認する。</p>	<p>・まずゆっくりバージョンを聞かせ、何が聞こえたかを確認する。</p> <p>・教師と一緒にチャンツを言って聞かせる。</p>	デジタル教材
10分 	<p>○Let's Talk</p> <p>・本時の学習を通して興味をもった国を選び、行ってみたい国についてのやり取りをする。</p> <p>A: Where do you want to go? B: I want to go to ~. A: You want to go to ~. B: How about you? Where do you want to go? A: I want to go to ~.</p>	<p>・指導者が2人でモデルを示し、新しい表現に慣れさせる。</p> <p>・国名の絵カードを提示しておく。</p> <p>◎行ってみたい国について聞いたり言ったりしている。<行動観察></p>	絵カード
8分	<p>・単元のゴールを確認し、目標達成のために何を学習すべきか検討する。</p> <p>・本時の学習を振り返り、振り返りカードに記入する。また、振り返りを交流する。</p> <p>・挨拶をする。</p>	<p>・単元全体の見通しをもって学習できるよう、学習内容や流れを確認する。</p> <p>・内容面と言語面から振り返らせ、本時のねらいに照らして児童を評価する。</p> <p>・挨拶をする。</p>	振り返りカード

第2時	<p>目 標：自分が行きたい国のおすすめの食べ物について話することができる。</p> <p>準備物：デジタル教材、絵カード、ワークシート（パンフレット用紙）、振り返りカード</p>
-----	--

時間	児童の活動 【 】 = We Can! に誌面化されている活動	指導者の活動と使用英語例 ◎評価<方法>	準備物
1分	<ul style="list-style-type: none"> 挨拶をする。 	<ul style="list-style-type: none"> 指導者や日直と児童全体で挨拶や様子を尋ねるやり取りを交わす。 	
4分 	<p>[Jingle] Countries Jingle</p> <ul style="list-style-type: none"> 音声に合わせてジングルを言う。 	<ul style="list-style-type: none"> アルファベットの文字がもつ音の特徴を捉えやすいように、指導者も口をはっきりと動かし、一緒にジングルを言う。 	デジタル教材
5分 	<p>○Small Talk</p> <ul style="list-style-type: none"> 指導者の You can eat~ を用いた対話を聞いて、何を食えることができるかについて話していることに気付く。 本時のめあてをたてる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; margin-top: 10px;"> <p>おすすめの食べ物を紹介する表現を使って聞いたり話したりしよう。</p> </div>	<p>A: Where do you want to go on holidays? B: Umm... I want to go to McDonald's. A: Sounds good. You want to go to McDonald's. You can eat hamburgers. B: Yes. I like hamburgers very much. Do you like hamburgers? A: Yes, I do.</p>	
5分 	<p>[Let's Chant] Where do you want to go ? (p.43)</p> <ul style="list-style-type: none"> リズムに乗ってチャンツを言う。 	<ul style="list-style-type: none"> 指導者も児童と一緒にチャンツを言う。 児童が言いにくそうなところは、特に口をはっきり動かして言って聞かせる。 	デジタル教材
15分 	<p>○Let's Talk</p> <ul style="list-style-type: none"> 行ってみたいおすすめの家とそこで食べられるものについて話す。 A: Where do you want to go? B: I want to go to Italy. A: You want to go to Italy. Why? B: I want to eat pizza. A: That sounds yummy. B: You can eat pizza in Italy. A: Nice. Thank you. 	<ul style="list-style-type: none"> まずは指導者が2人でモデルを示し、使わせたい表現を聞かせて確認する。 前時とどこが同じで、どこが違うのか比較することで、表現が広がっていることを実感させる。 ①T-S, ②S-S の順で段階的にやり取りをさせる。S-S はペアを変えながら繰り返しやり取りをさせる。 言いたいけど言えなかったことなど、やり取りの中で困ったことを確認し、全体で既習表現を振り返るなど、共有しながら進める。 ◎自分が行きたい国のおすすめの食べ物について話している。<行動観察> 	絵カード
10分 	<p>○Let's Read and Write</p> <ul style="list-style-type: none"> You can eat~ の表現を使って、パンフレットの1ページを書く。 紹介したい食べ物の写真を貼る。 	<ul style="list-style-type: none"> You can の部分はなぞらせ、eat は自分で手本を見て書き写させる。 書く時には、書く表現を言って聞かせたり言わせたりしながら書かせる。 書く時の決まりを黒板に提示し、留意点を確認してから書かせる。 目的語の部分は写真を貼らせる。 	ワークシート
5分	<ul style="list-style-type: none"> 本時の学習の振り返りをし、振り返りカードに記入する。 振り返りを交流する。 挨拶をする。 	<ul style="list-style-type: none"> 内容面と言語面から振り返らせ、本時のねらいに照らして児童を評価する。 挨拶をする。 	振り返りカード

第3時	<p>目 標：自分が行きたい国のおすすめの観光スポットについて話すことができる。</p> <p>準備物：デジタル教材，児童用テキスト，絵カード，ワークシート（パンフレット用紙），振り返りカード</p>
-----	--

時間	児童の活動 【 】 = We Can! に誌面化されている活動	指導者の活動と使用英語例 ◎評価<方法>	準備物
1分	・挨拶をする。	・指導者や日直と児童全体で挨拶や様子を尋ねるやり取りを交わす。	
2分 	<p>[Jingle] Countries Jingle</p> <p>・音声に合わせてジングルを言う。</p>	・アルファベットの文字がもつ音の特徴を捉えやすいように，指導者も口をはっきりと動かし，一緒にジングルを言う。	デジタル教材
5分	<p>○Sounds and Letters : What country is this?</p> <p>・国旗や関連する写真を見ながら，指導者のヒントを聞いて国名を答える。</p> <p>・本時のめあてをたてる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; margin-top: 10px;"> おすすめの観光スポットを紹介する表現を使って聞いたり話したりしよう。 </div>	<p>・既習表現を用いてヒントを出し，国名の言い方と文字表記を確認する。</p> <p>・音声と文字とが一致するように，国旗を手がかりにさせたり，初頭音や初頭文字などに着目させたりして考えさせる。</p>	絵カード
5分 	<p>[Let's Watch and Think 2] (p.44)</p> <p>・行きたい国とその理由について聞き取り，おすすめの国の紹介の仕方について見通しをもつ。</p>	<p>・聞く観点をあらかじめ示しておき，目的意識をもって聞かせるようにする。</p> <p>・視聴する映像を手がかりに，内容の大体をつかませるようにする。</p>	デジタル教材 児童用テキスト
3分 	<p>[Let's Chant] Where do you want to go? (p.43)</p> <p>・リズムに乗ってチャンツを言う。</p>	<p>・指導者も児童と一緒にチャンツを言う。</p> <p>・児童が言いにくそうなところは，特に口をはっきり動かして言って聞かせる。</p>	デジタル教材
15分 	<p>○Let's Talk</p> <p>・行ってみたいおすすめの家とそこで見たり訪れたりできる場所について話す。</p> <p>A: Where do you want to go? B: I want to go to Italy. A: You want to go to Italy? B: Yes, I do. A: Why? B: I want to see the Leaning Tower of Pisa. A: That sounds great. B: You can see the Leaning Tower of Pisa in Italy. A: Nice. Thank you.</p>	<p>・まずは指導者がモデルを示し，使わせたい表現を聞かせて確認する。</p> <p>・前時とどこが同じで，どこが違うのか比較することで，表現が広がっていることを実感させる。</p> <p>・①T-S, ②S-Sの順で段階的にやり取りをさせる。S-Sはペアを変えながら繰り返しやり取りをさせる。</p> <p>・言いたいけど言えなかったことなどやり取りの中で困ったことを確認し，全体で既習表現を振り返るなど，共有しながら進める。</p> <p>◎自分が行きたい国の，おすすめの観光スポットについて話している。<行動観察></p>	絵カード
10分 	<p>○Let's Read and Write</p> <p>・You can see / visit~の表現を使って，パンフレットの1ページを書く。</p> <p>・紹介したい観光スポットの写真を貼る。</p>	<p>・You canの部分はなぞらせ，see / visitは自分で選び，手本を見て書き写させる。</p> <p>・書く表現を言って聞かせたり言わせたりしながら書かせる。</p> <p>・書く時の決まりを黒板に提示し，留意点を確認してから書かせる。</p> <p>・目的語の部分は写真を貼らせる。</p>	ワークシート
4分	<p>・本時の学習の振り返りをし，振り返りカードに記入する。</p> <p>・振り返りを交流する。</p> <p>・挨拶をする。</p>	<p>・内容面と言語面から振り返らせ，本時のねらいに照らして児童を評価する。</p> <p>・挨拶をする。</p>	振り返りカード



第4時	<p>目 標：自分が行きたい国のおすすめのお土産（買える物）について話すことができる。</p> <p>準備物：デジタル教材，児童用テキスト，絵カード，ワークシート（パンフレット用紙），振り返りカード</p>
-----	---

時間	児童の活動 【 】 = We Can! に誌面化されている活動	指導者の活動と使用英語例 ◎評価<方法>	準備物
1分	<ul style="list-style-type: none"> 挨拶をする。 	<ul style="list-style-type: none"> 指導者や日直と児童全体で挨拶や様子を尋ねるやり取りを交わす。 	
2分 	<p>[Jingle] Countries Jingle</p> <ul style="list-style-type: none"> 音声に合わせてジングルを言う。 本時のめあてをたてる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>おすすめのおみやげを紹介する表現を使って聞いたり話したりしよう。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> アルファベットの文字がもつ音の特徴を捉えやすいように，指導者も口をはっきりと動かし，一緒にジングルを言う。 	デジタル教材
2分 	<p>[Let's Chant] Where do you want to go? (p.43)</p> <ul style="list-style-type: none"> リズムに乗ってチャンツを言う。 	<ul style="list-style-type: none"> 指導者も児童と一緒にチャンツを言う。 児童が言いにくそうなところは，特に口をはっきり動かして言って聞かせる。 	デジタル教材
5分 	<p>[Let's Watch and Think 3] (p.45)</p> <ul style="list-style-type: none"> 旅行会社の社員がおすすめする旅行先の国や，そこで何ができるかを聞き取って線で結ぶ。 	<ul style="list-style-type: none"> 聞かせるのは2ヶ国にし，その答えの確認と残りの二つについて考えさせ，選んで言わせる。 	デジタル教材 児童用テキスト
15分 	<p>○Let's Talk</p> <ul style="list-style-type: none"> 行ってみたいおすすめのお土産の国とそこで買える物（お土産）について話す。 <p>A: Where do you want to go? B: I want to go to Italy. A: You want to go to Italy? B: Yes, I do. A: Why? B: I want to buy olive oil. A: That sounds nice. B: You can buy olive oil in Italy. A: I see. Thank you.</p>	<ul style="list-style-type: none"> まずは指導者がモデルを示し，使わせたい表現を聞かせて確認する。 前時とどこが同じで，どこが違うのか比較することで，表現が広がっていることを実感させる。 ①T-S, ②S-Sの順で段階的にやり取りをさせる。S-Sはペアを変えながら繰り返しやり取りをさせる。 言いたいけど言えなかったことなどやり取りの中で困ったことを確認し，全体で既習表現を振り返るなど，共有しながら進める。 ◎自分が行きたい国のおすすめのお土産について話している。<行動観察> 	絵カード
15分 	<p>○Let's Read and Write</p> <ul style="list-style-type: none"> You can buy~の表現を使って，パンフレットの1ページを書く。 紹介したいお土産の写真を貼る。 これまで書き溜めた3ページに追加して書きたいことがあれば書く。 書き溜めた各ページを，順番を考えて貼り合わせる。 	<ul style="list-style-type: none"> You canの部分はなぞらせ，buyは手本を見て書き写させる。 書く時には，書く表現を言って聞かせたり言わせたりしながら書かせる。 書く時の決まりを黒板に提示し，留意点を確認してから書かせる。 目的語の部分は写真を貼らせる。 	ワークシート
5分	<ul style="list-style-type: none"> 本時の学習の振り返りをし，振り返りカードに記入する。 振り返りを交流する。 挨拶をする。 	<ul style="list-style-type: none"> 内容面と言語面から振り返らせ，本時のねらいに照らして児童を評価する。 挨拶をする。 	振り返りカード

第5時	<p>目 標：おすすめしたい理由や気持ちを、形容詞を使って話すことができる。 おすすめしたい理由や気持ちを書くことができる。</p> <p>準備物：デジタル教材、児童用テキスト、ワークシート（パンフレット用紙）、振り返りカード</p>
-----	---

時間	児童の活動 【 】 = We Can! に誌面化されている活動	指導者の活動と使用英語例 ◎評価<方法>	準備物
1分	・挨拶をする。	・指導者や日直と児童全体で挨拶や様子を尋ねるやり取りを交わす。	
5分 	<p>○Small Talk</p> <p>・指導者の It's~を用いた対話を聞いて、好きな食べ物や理由について話していることに気付く。</p> <p>・本時のめあてをたてる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>おすすめの国について紹介した理由や気持ちを聞いたり話したりして、パンフレットに書き加えよう。</p> </div>	<p>A: What food do you like? B: I like French fries. It's salty and delicious. A: Me too. I like French fries too. It's yummy. B: How about you? What food do you like? A: I like curry and rice. It's spicy. I like spicy foods. B: I see.</p>	
2分 	<p>【Let's Chant】 Where do you want to go? (p.43)</p> <p>・リズムに乗ってチャンツを言う。</p>	<p>・指導者も児童と一緒にチャンツを言う。</p> <p>・児童が言いにくそうなところは、特に口をはっきり動かして言って聞かせる。</p>	デジタル教材
5分 	<p>【Let's Watch and Think 4】 (p.46)</p> <p>・デジタル教材を視聴し、絵を参照しながら分かったことを□に記入する。</p>	<p>・誌面に描かれている絵や写真を手がかりに、どのような表現が聞こえてきそうか、予想してから聞かせる。</p>	デジタル教材 児童用テキスト
12分 	<p>○Let's Talk</p> <p>・行ってみたいおすすめ国について、おすすめする内容を、理由や気持ちとともに話す。</p> <p>A: Where do you want to go? B: I want to go to Italy. A: You want to go to Italy. Why? B: I can eat pizza. It's delicious. A: That sounds yummy. B: I can see the Leaning Tower of Pisa. It's very good. A: That sounds great. B: I can buy pasta and olive oil. It's nice. A: Wow, I see. Thank you.</p>	<p>・大体の内容を確認させ、児童の知っている食べ物や場所の写真を用いて、気持ちを表す形容詞を使った表現に慣れさせる。</p> <p>・①T-S, ②S-Sの順で段階的にやり取りをさせる。S-Sはペアを変えながら繰り返しやり取りをさせる。</p> <p>・言いたいけど言えなかったことなどやり取りの中で困ったことを確認し、全体で既習表現を振り返るなど、共有しながら進める。</p> <p>◎おすすめしたい理由や気持ちを、形容詞を使って話している。<行動観察></p>	ワークシート
15分 	<p>○Let's Read and Write</p> <p>・It's~の表現を使って、紹介したい食べ物や観光地、お土産などについて、自分の気持ちや理由を表す表現を書く。</p> <p>書く文例：It's nice / delicious / beautiful.</p>	<p>・本時で扱った It's~をパンフレットに書かせる。共通部分はなぞらせ、形容詞はワードリストを確認して書かせる。</p> <p>・書くときの決まりを提示し、書くときのポイントを確認する。</p> <p>・書き溜めた紙を、自分が一番紹介したいものから順番に貼り合わせて、パンフレットを完成させる。</p> <p>◎おすすめしたい理由や気持ちを書いている。<パンフレット(ワークシート)></p>	ワークシート
5分	<p>・本時の学習の振り返りをし、振り返りカードに記入して交流する。</p> <p>・挨拶をする。</p>	<p>・内容面と言語面から振り返らせ、本時のねらいに照らして児童を評価する。</p> <p>・挨拶をする。</p>	振り返りカード



第6時	<p>目 標 : おすすめの国やその理由について, 自分の考えを整理して伝え合おうとする。 おすすめの国やその理由について伝え合う。</p> <p>準備物 : 絵カード, デジタル教材, 児童用テキスト, ワークシート (パンフレット用紙), 振り返りカード</p>
-----	---

時間	児童の活動 【 】 = We Can ! に誌面化されている活動	指導者の活動と使用英語例 ◎評価<方法>	準備物
1分	・挨拶をする。	・指導者や日直と児童全体で挨拶や様子を尋ねるやり取りを交わす。	
6分	<p>○Sounds and Letters : What country is this? (3ヒントクイズ)</p> <p>・国旗や国名の表記を見たり, 指導者のヒントを聞いたりして国名を答える。 ・本時のめあてをたてる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; margin: 10px auto; width: fit-content;"> おすすめの観光スポットを紹介する表現を使って聞いたり話したりしよう。 </div>	<p>・既習表現を用いてヒントを出す。 You can eat / see / enjoy~.</p> <p>・最初の文字から1文字ずつ見せていくなど, 国名の見せ方を工夫しながら, 文字に着目させる。</p>	絵カード
6分 	<p>【Let's Listen】 (p.47)</p> <p>・音声でのヒントを聞き, 示されている三つの国旗からどの国の話を考える。</p>	<p>・聞かなくても答えが分かると予想されるため, どのような表現を使って紹介するのかを考えさせ, その表現が使われているかどうかを確かめる聞き方をさせる。</p>	デジタル教材 児童用テキスト
6分 	<p>【Let's Watch and Think 5】 (p.48)</p> <p>・デジタル教材の子供の話を聞き, どの国かを考える。</p>	<p>・事前に答えを予想させてから聞かせる。 ・内容だけでなく, 話し方のモデルとして, 真似をしたらいところは無いかなど, 聞いて考えさせる。</p>	デジタル教材 児童用テキスト
15分 	<p>○Let's Talk</p> <p>・行ってみたい国, おすすめの国について紹介し合う。</p> <p>A: Where do you want to go? B: I want to go to Italy. A: You want to go to Italy? B: Yes, I do. A: Why? B: I can eat pizza. It's yummy. Do you like pizza? A: Yes, I do. I like pizza too. B: I can see the Leaning Tower of Pisa. It's wonderful. A: That sounds great. B: And you can buy pasta and olive oil. It's nice. Italy is nice.</p>	<p>・①T-S, ②S-Sの順で段階的にやり取りをさせる。S-Sはペアを変えながら繰り返しやり取りをさせる。</p> <p>・既習表現を積極的に使いながらやり取りをするよう促し, 少しずつステップアップできるようにする。</p> <p>・言いたいけど言えなかったことなどやり取りの中で困ったことを確認し, 全体で既習表現を振り返るなど, 共有しながら進める。</p> <p>◎おすすめの国やその理由について, 自分の考えを整理して伝え合おうとしている。</p> <p>◎おすすめの国やその理由について伝え合っている。<行動観察・振り返りカード></p>	
6分 	<p>○Let's Read and Write</p> <p>・~ is nice.の表現を使って, 紹介したい国の名前をパンフレットの表紙に書く。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> 書く文例 : France is nice! Italy is nice! </div>	<p>・本時で扱った~ is nice.をパンフレットの表紙に書かせる。共通部分はなぞらせ, 国名はワードリストを確認して書かせる。</p> <p>・書くときの決まりとして, 名前は初めの文字を大文字で書くことを確認してから書かせる。</p>	ワークシート
5分	<p>・本時の学習の振り返りをし, 振り返りカードに記入する。 ・振り返りを交流する。 ・挨拶をする。</p>	<p>・内容面と言語面から振り返らせ, 本時のねらいに照らして児童を評価する。</p> <p>・挨拶をする。</p>	振り返りカード

第7時	<p>目 標：おすすめの国やその理由について，読むことができる。</p> <p>準備物：絵カード，教材提示装置，ワークシート（パンフレット用紙），振り返りカード</p>
-----	--

時間	児童の活動 【 】 = We Can! に誌面化されている活動	指導者の活動と使用英語例 ◎評価<方法>	準備物
1分	・挨拶をする。	・指導者や日直と児童全体で挨拶や様子を尋ねるやり取りを交わす。	
4分	<p>○Sounds and Letters : What country is this? (3ヒントクイズ)</p> <p>・国旗や国名の表記を見たり，指導者のヒントを聞いたりして国名を答える。</p> <p>・本時のめあてをたてる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>パンフレットを読み合い，改めて自分が行きたくなった国や理由を伝え合おう。</p> </div>	<p>・既習表現を用いてヒントを出す。 You can eat / see / enjoy~.</p> <p>・最初の文字から1文字ずつ見せていくなど，国名の見せ方を工夫しながら，文字に着目させる。</p>	絵カード
5分 	<p>○Let's Listen</p> <p>・先生のおすすめの国についての紹介を聞き，前時に行った相互紹介の活動を想起する。</p>	・指導者がALTの出身国について紹介することを通して，既習表現を聞かせて確認する。	絵カード
5分 	<p>○Let's Read 1</p> <p>・ALTの出身国を紹介したパンフレットを全員で読む。</p> <p>①読まれている部分を指でなぞりながら聞く。</p> <p>②まとまった文章の中から，読まれた単語（キーワード）を見つける。</p> <p>③指でなぞりながら，全員で一緒にゆっくり読む。</p>	<p>・まずは読んで聞かせながら，音声と文字を一致させられるようにする。</p> <p>・まとまった文章の書かれたシートを配付し，前面にも提示することで，全体で確認できるようにする。</p> <p>・本単元で扱う表現を順に読み，“You can”の部分は共通しており，動詞の部分だけが異なっていることに視覚的に気付かせる。</p>	絵カード 教材提示装置 ワークシート
15分 	<p>○Let's Read 2</p> <p>・グループの中でお互いのパンフレットを交換して読み合い，友達のおすすめしている国の情報を得る。</p>	<p>・読み方が分からない場合の手立てとして，写真やワードリストなどの視覚資料を見ることや，単語の初頭音から想起することなどを確認しておく。</p> <p>・机間指導を行いながら，児童の取組状況を把握したり，支援したりする。</p> <p>・中間評価を行い，自分では読めないところはないか確認し，必要に応じて個々のパンフレットを教材提示装置で映しながら全員で課題を解決できるようにする。</p> <p>◎おすすめの国やその理由について，読んでいる。<行動観察・振り返りカード></p>	教材提示装置 ワークシート
10分 	<p>○Let's Talk</p> <p>・いろいろな国のパンフレットを読んだことを基に，改めて自分が行ってみたいと思った国についてやり取りをする。</p>	<p>・グループの仲間が作ったパンフレットについて，グループ全体で話し合わせる。</p> <p>・既習表現を使いながら自由に質問し合うなど，読んだことを根拠にして話し合いや聞き合いの活動が深まるように促す。</p> <p>・数人に全体の場で発表させ，学びが深まっていることを共有する。</p>	教材提示装置 ワークシート
5分	<p>・本時の学習の振り返りをし，振り返りカードに記入する。</p> <p>・振り返りを交流する。</p> <p>・挨拶をする。</p>	<p>・内容面と言語面から振り返らせ，本時のねらいに照らして児童を評価する。</p> <p>・挨拶をする。</p>	振り返りカード

第8時	<p>目標：自分が改めて行きたいと思った国について、他者に配慮しながら進んで伝え合おうとする。</p> <p>準備物：絵カード、ワークシート（パンフレット用紙）、振り返りカード</p>
-----	--

時間	児童の活動 【 】 = We Can! に誌面化されている活動	指導者の活動と使用英語例 ◎評価<方法>	準備物
1分	<ul style="list-style-type: none"> 挨拶をする。 	<ul style="list-style-type: none"> 指導者や日直と児童全体で挨拶や様子を尋ねるやり取りを交わす。 	
4分 	<p>○Small Talk</p> <ul style="list-style-type: none"> 本単元で学習した表現を用いた対話を聞いて話の大体をつかみ、指導者の質問に答える。 I want to go (to) ~ on holidays. 本時のめあてをたてる。 	<ul style="list-style-type: none"> 既習を使ったやり取りをして聞かせる。 Where do you want to go on holidays? I want to go (to) ~. I like ~. What ~ do you like? 聞かせたやり取りをもとに、簡単な質問をして答えさせ、表現の定着を図る。 	
<p>おすすめの国について紹介し合い、自分の行ってみたい国を友達や先生に伝えよう。</p>			
30分 	<p>○Let's Talk</p> <ul style="list-style-type: none"> おすすめの国を紹介し合ったり、それを基に既習の表現を使って話を広げたりしながらやり取りをし、行ってみたい国について伝え合う。 <p>A: Where do you want to go? B: I want to go to Italy. A: You want to go to Italy? B: Yes, I do. A: Why? B: You can eat pizza in Italy. I like pizza with tabasco. It's hot, but delicious. And you can eat carpaccio in Italy. A: Carpaccio? B: Yes. I saw ○○'s pamphlet. It looks very delicious. So, I want to go to Italy. A: Wow, that sounds nice. B: How about you? . . .</p>	<ul style="list-style-type: none"> 既習表現を積極的に使いながらやり取りをするよう促し、本当に伝えたいことや尋ねたいことをやり取りして会話を広げさせる。 まずは指導者がやり取りをして見せ、次にT-Sでやり取りをして全体に見せることで、やり取りの見通しをもたせる。 言いたいけど言えなかったことなど、やり取りの中で困ったことを確認し、全体で既習表現を振り返るなど、共有しながら進める。 S-Sのやり取りはペアを変えながら繰り返し行う。途中で中間評価を加え、モデルとなるペアに全体の場でやり取りをさせたり、やり取りの中でよかった点を具体的に評価したりしながら、既習表現の確認、定着を図る。 やり取りを十分にさせた後、行ってみたい国を挙手で意思表示させる。行ってみたいと思った人が増えていることを根拠に、それぞれの国の魅力をお互いに伝え合えたということの評価する。途中で行きたくなかった理由を問うことで、既習表現を用いて自分の気持ちを表現させる場を設ける。 <p>◎自分が改めて行きたいと思った国について、他者に配慮しながら進んで伝え合おうとしている。<行動観察></p>	絵カード ワークシート
10分	<ul style="list-style-type: none"> 本単元の学習の振り返りをし、振り返りカードに記入する。 振り返りを交流する。 挨拶をする。 	<ul style="list-style-type: none"> 単元全体を内容面と言語面から振り返らせ、単元のゴールに照らして児童を評価する。 自分がこれまでに書いた各時間の振り返りを読ませ、自己の変容や成長に気付かせる。 挨拶をする。 	振り返りカード